

赤ちゃんの頭のかたち外来のご紹介



赤ちゃんの頭のかたち外来（小児脳神経外科）で診療をしております吉藤和久です。

当センターには、赤ちゃんの頭の変形を心配され受診される方が多くいます。そのほとんどは病気ではなく、いつも同じ方向を向いて寝ることなどで、後頭部が平らになったり非対称になったりする「位置的頭蓋変形」という状態です。

（まれに、「頭蓋骨縫合早期癒合症」という病気が隠れていることもあり、最初に見極めが必要です。）

「位置的頭蓋変形」であっても、一部のお子

さまの中には、変形が強く、耳やおでこ、目、頬、あごの位置がずれ、自然軽快や日常ケアによる改善が望めない程度まで進んだ例が見られます。このような場合、自由診療ではありますが、ヘルメットによる矯正治療が有効と知られています。希望者には、これまでは本州の医療機関を紹介してきましたが、当センターにおいても診察からヘルメット治療までをワンストップで対応できる体制を整えるべきと考えておりました。

そのため、本年4月から外来開始に向けた準備を進め、8月23日に無事にスタートをすることができました。外来の開始にあたっては、医療機関のみならず保護者の方々からの反響も大きく、数多くのご紹介やお問い合わせをいただいております。外来開始から約4ヶ月が経ち、8名の方がヘルメットによる矯正治療を選択されました。

治療開始時期は生後2～7か月と短いため、お子さまの頭の形で悩まれている保護者の方がいらっしゃいましたら、まずは当センターを受診していただき、疑問や不安に思っただけのご質問をさせていただきます。診察の上、丁寧にご説明いたします。

【ヘルメット治療の要点】

- 治療開始の適応月齢は2～7か月です。
（矯正効果は生後4か月未満が高く、生後9か月以降は有意に低くなります。）
- ヘルメット装着期間はおよそ6か月です。
- 使用するヘルメットは「クルムフィット（Japan Medical Company 製）」です。
- ヘルメット治療を当科から勧めることはしません。適応となる変形レベルの場合であっても、治療選択肢としての存在を紹介するにとどめます。

ヘルメット治療の基本的な流れ

Step1 レントゲン検査

・病的な頭蓋変形（頭蓋骨縫合早期癒合症）でないか確認します。



Step2 適応診断

・診察では、視診・触診を通して、変形の診断と重症度を判定し、診察時の月齢を考慮した上でヘルメット治療の適応を判断します。



Step3 ヘルメット作成

・3Dスキャナー撮影データを基に、矯正後の最終的な頭の形を想定したオーダーメイドのヘルメットを作成します。



Step4 治療スタート

・申込みから約2週間でヘルメットが届き、装着を開始します。基本的には入浴以外、6か月前後の装着を推奨しています。



Step5 定期的な診察

・約4週間ごとに診察します。ヘルメットの装着状況や矯正状況、頭の成長状態などを確認し、ヘルメットの再調整を行います。



Step6 治療終了

・治療の終了は、頭蓋変形の改善度、頭蓋成長の度合い、装着時間の状況などを基に判断します。

【3Dスキャナー撮影について】



・3D画像撮影解析装置を用いて撮影を行います。

・お子さまの頭部を上部・前後左右から2～3回ずつ撮影します。

【治療に用いるヘルメットについて】



・ヘルメットはピンク、ブルー、ホワイトの3色からお好みに合わせて選べます。

・ヘルメット内部にはクッション材が貼られており、頭の成長に合わせて厚みを調整します。

【ヘルメット装着時間について】



・治療は入浴中を除いた1日23時間、6ヶ月間前後の期間、お子さまの様子をみながらヘルメットを装着します。

【診察時間】

毎週金曜日

10:00～12:00 / 13:00～14:30

※完全予約制（紹介状をご持参ください。）

【お問い合わせ先】

011-691-5696（代表電話）

※詳しくはこちらから
ご覧ください。

